

2020 年度 第 22 回教育研究審議会議事概要

日 時 令和 3 年 3 月 3 日 (水) 午後 4 時 00 分～午後 6 時 06 分

場 所 本部棟 3 階 大会議室

出席者 藤田英典学長、杉本光司副学長、田中昌弥副学長、深澤祥邦事務局長、小林重雄理事、佐藤明浩学長補佐、加藤めぐみ学長補佐、新井仁入学センター長、廣田健教職支援センター長、北垣憲仁地域交流研究センター長、茂木秀昭国際交流センター長、竹島達也研究科委員長、野中潤国文学科長、ハウエル・エヴァンス英文学科長、山本芳美比較文化学科長、原和久国際教育学科長、鳥原正敏学校教育学科長、春日尚雄地域社会学科長、矢嶋亘総務課長、石川和広経営企画課長、中村さき子学生課長

1 開 会 藤田学長より挨拶

2 議 事

(1) 専任教員の昇任について (国文学科) (投票)

◇准教授 → 教授

○投票の結果、信任多数により承認

〈投票結果〉○20 ×0 白0 計 20 名

(2) 専任教員の昇任について (比較文化学科) (投票)

◇准教授 → 教授

○投票の結果、信任多数により承認

〈投票結果〉○20 ×0 白0 計 20 名

(3) 専任教員の昇任について (国際教育学科) (投票)

◇講師 → 准教授

○投票の結果、信任多数により承認

〈投票結果〉○20 ×0 白0 計 20 名

(4) 専任教員の移籍について (比較文化学科) (投票)

◇社会学科 → 比較文化学科

○投票の結果、信任多数により承認

〈投票結果〉○20 ×0 白0 計 20 名

(5) 専任教員の昇任について (国際教育学科)

○委員から資料 5 に基づき説明。→提案通り承認。

◇講師 → 准教授 ・昇任見送り

(6) 専任教員の昇任について (学校教育学科)

○委員から資料 6 に基づき説明。→2 週間の閲覧に供し次回投票。

◇准教授 → 教授

- (7) 専任教員の移籍について（学校教育学科）
○学長及び委員から資料 7-1 に基づき説明。
上記に伴う教員移籍の教員選考委員会を組織する。
◇学校教育学科（移籍）
- (8) 特任教員の任期更新について（キャリア支援センター）
○委員から資料 8 に基づき説明。→提案通り承認。（投票省略）
◇特任教授 C タイプ
- (9) 非常勤講師の担当科目コマの発議・提案について（学校教育学科）
○委員から資料 9-1 に基づき「非常勤講師担当科目コマの発議・提案」について説明。→提案通り承認。
◇子ども理解フィールドワーク
◆担当者の退職（本務校決定）のため。
◇教職入門 B【国・英・社免許】（～2018 入学）・【地社・国・英用】（2019 入学～）
◆従来の担当者辞退のため。
○委員 A 及び委員 B から資料 9-2 及び 9-3 に基づき「非常勤講師採用候補者に係る資料等」について説明。→提案通り承認。
◇日本臨床心理学・日本臨床教育学・都留臨床教育学・山梨県臨床心理士会（非常勤講師） ランク B
◇（非常勤講師） ランク A
- (10) 非常勤講師の担当科目コマの発議・提案について（地域社会学科）
○委員から資料 10-1 に基づき「非常勤講師担当科目コマの発議・提案」について説明。→提案通り承認。
◇国際政治学 I、II・基礎実習Ⅳ・グローバル化リサーチ研究・演習（国際政治学） I～IV
◆専任教員の退職のため。
○委員から資料 10-2 に基づき「非常勤講師採用候補者に係る資料等」について説明。→提案通り承認。
◇北東アジア学・日本国際政治学・日本平和学（非常勤講師） ランク B
- (11) 非常勤講師の担当科目コマの発議・提案について（語学教育センター）
○委員から資料 11-1 に基づき「非常勤講師担当科目コマの発議・提案」について説明。→提案通り承認。
◇English Call I、II
◆当該科目担当教員が今年度で退職するため。
○委員から資料 11-2 に基づき「非常勤講師採用候補者に係る資料等」について説明。→提案通り承認。
◇Wind Condominium Assoc・Asian Studies Alumni Assoc など（非常勤講師） ランク S1
・当該案件のように本学非常勤講師であった方について規定上は 1 年以上のブランクがある場合、再度教育研究審議会で審議するものとなっているが、中には教務委員会へ科目のみの提案のみとしているケースがある。

学長→提案のあった 1 年以上ブランクがあるケースなどについては今後内規等により整備する必要がある。

- (12) 令和3年度 開講科目について（外国語・社会学科）
○委員から資料12-1及び12-2に基づき説明。→提案通り承認。
- (13) 令和3年度 非常勤講師の授業担当科目について（継続 第14回）
○委員から資料13に基づき説明。→提案通り承認。
- (14) 令和3年度 非常勤講師の授業担当科目について（取消 第7回）
○委員から資料14に基づき説明。→提案通り承認。
- (15) 2021年度履修登録基本方針（共通外国語科目）について（語学教育センター）
○委員A及び委員Bから資料15に基づき説明。→提案通り承認。
委員C→調整期間が設けられているが比較文化学科での再履修者が多いようであるが、学科の必修科目とバッティングするケースが想定される部分が心配である。
委員B→必修科目とのバッティングについてはある程度配慮した調整は可能である
と考える。
学長→履修単位が多い問題も含め単位認定などについては、今後将来構想員会で
検討していくものとする。
- (16) 大学院研究科教員資格審査結果報告書について（研究科委員会）
○委員から資料16-1及び16-2に基づき説明。→提案通り承認。
◇比較文化専攻
比較地域文化論Ⅰ（アジア文化）・比較地域文化演習Ⅰ（アジア文化）・
比較文化研究方法論・フィールドワーク・フィールドワーク調査法・比較文化論
◇比較文化専攻
比較文化論・比較地域文化演習（欧米文化）・比較文化地域論（欧米文化）・
比較文化研究方法・フィールドワーク・フィールドワーク調査法
- (17) オンライン交換留学と単位認定について（国際交流センター）
○委員Aから資料17に基づき説明。→提案通り承認。
・単位認定可否や上限単位については今後教務委員会で具体的に詰めていただくものとなる。
委員B→オンライン留学についてコロナ禍の状況であるため早期に進めていく必要がある。
- (18) 公立大学法人都留文科大学将来構想員会設置規則（案）について
○委員Aから資料18-1から18-5に基づき説明。→提案通り最終決定機関である理事会へ提案することを承認。
・今回廃止とする委員会などについては当該構想員会へ統合していく考えとしている。
委員B→学長が入っていないがよろしいか。
委員A→学長の下に組織される委員会であり学長の命による検討を実施する。
委員C→これまでにプロジェクトなどで検討してきた事案や懸案事項は引継ぎ構想員会で
議論などしてくものである。
- (19) その他 ○なし

(1) 新型コロナウイルス感染症等対策本部会議報告について

○委員 A、委員 B、委員 C から資料 19-1 及び 19-2 に基づき報告。

(2) 都留文科大学新棟（仮称）建築工事基本設計について

○委員から資料 20 について報告。

(3) その他 ○なし

4 閉 会

以 上